

船舶事故調査報告書

令和6年4月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	令和5年7月26日 09時27分ごろ
発生場所	千葉県木更津港木更津ふ頭E岸壁 木更津港防波堤西灯台から真方位108° 1.4海里（M）付近 （概位 北緯35° 22.2′ 東経139° 53.3′）
事故の概要	貨物船三十七大盛丸 ^{たいせい} は、着岸作業中、岸壁に衝突した。
事故調査の経過	令和5年8月16日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 三十七大盛丸、736トン 132326、株式会社大盛産業（船舶所有者）、水戸海運株式会社（船舶借入人、A社）
乗組員等に関する情報	船長、四級（航海）（旧就業範囲） 航海士A、三級（航海）
負傷者	なし
損傷	本船 バルバスバウに破口及び凹損等 岸壁 下部の矢板に曲損等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期
事故の経過	<p>本船は、船長及び航海士Aほか4人が乗り組み、粗目砂約2,200tを積載し、船首約4.1m、船尾約5.4mの喫水で、木更津港に向けて中ノ瀬航路を航行中、航海当直中の航海士Aが昇橋した船長から着岸操船を試みることを問われて了承し、船長が降橋した後、木更津航路に入航した。</p> <p>本船は、木更津航路を出航し、南南東方に延びる木更津ふ頭E岸壁（以下「本件岸壁」という。）に船首を南南東に向けて左舷着けする目的で、航海士Aが単独で操船に、他の乗組員が船首及び船尾にそれぞれ入港配置につき、減速を始めた。</p> <p>本船は、船首を本件岸壁に向け、主機を極微速力前進として東北東進中、航海士Aが、携帯電話の呼出しを受けた際、短時間で通話を終えるつもりで応答したが、運航会社担当者からの次航海の情報であったので、通話をしながら船尾の錨を投入し、操船を続けていたところ、船首配置の乗組員から行きあしが速いと報告を受け、操船中であることを運航会社担当者に告げて電話を切ったとき、至近に本件岸壁があることを認め、バウスラストを使用し、右舵及び主機を後進としたが、本件岸壁に衝突した。</p> <p>本船は、衝突後、本件岸壁から後進して離れ、右転して本件岸壁に</p>

	<p>着け、船舶代理店が海上保安庁に通報し、船長が船舶管理会社担当者に本事故の発生を報告した。</p> <p>本船は、揚げ荷役を終えた後、京浜港横浜第3区出田町ふ頭で仮修理が行われ、臨時検査を受け、3か月ごとに船舶検査官（JG）の臨時検査が行われることを条件に航行許可が得られた。</p> <p>船長は、A社担当者から航海士Aについて、船長経験があること及び操船経験を積ませることを聞いており、本事故時、海上が平穏であり、本件岸壁が比較的着岸操船が容易であると判断して、自身が在橋すると航海士Aが気を遣うと思い、船橋を離れてクレーンの準備を行っていた。</p> <p>航海士Aは、船長の経験が1年程度あったが、A社では操船経験がなく、操船経験を積むことを目的に令和5年1月ごろ本船に乗船し、船長の下で離岸操船を数十回行い、本事故時、着岸操船を行うのは初めてであった。</p> <p>航海士Aは、本事故当時、携帯電話の相手が運航会社担当者であり、次航海の情報を受け、電話を切りにくくなったので、携帯電話の呼出しに応じなければよかったと本事故後に思った。</p> <p>（付図1 航行経路図 参照）</p>
<p>分析</p>	<p>本船は、本件岸壁に向けて着岸操船中、単独で操船に当たっていた航海士Aが、携帯電話で通話をしながら操船を続けたことから、通話に集中して本件岸壁の接近状況に気付かず、至近に本件岸壁を認めてバウスラストを使用する等したものの、本件岸壁に衝突したものと考えられる。</p> <p>航海士Aは、携帯電話の相手が運航会社担当者であり、次航海の情報を受けたことから、電話を切りにくくなったものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、本件岸壁に向けて着岸操船中、単独で操船に当たっていた航海士Aが、携帯電話で通話をしながら操船を続けたため、通話に集中して本件岸壁の接近状況に気付かず、至近に本件岸壁を認めてバウスラストを使用する等したものの、本件岸壁に衝突したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 操船者は、着岸作業中、携帯電話の呼出しには応答せず、操船に集中すること。 ・ 船長は、航海士に着岸の操船を行わせる場合であっても、船橋から離れないこと。

付図1 航行経路図

